当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2014年10月15日から2034年10月16日まで
基本方針	この投資信託は、ファンド・オブ・ファンズ方式により、安定した配当収入の確保と中長期的な値上り益の獲得を目指して運用を行います。
投資対象	円建の外国投資信託であるUBS・欧州銀行株式・ストラテジーファンド受益証券および国内籍証券投資信託であるカレラ マネープール マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
投資態度	1. 主として外国投資信託受益証券への投資を通じて、実質的に欧州の金融商品取引所に上場しているユーロ圏の銀行株式(以下「欧州銀行株式」といいます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指すとともに、欧州銀行株式のオプション取引ならびに通貨オプション取引の投資成果を享受することを目指して運用を行います。 2. 外国投資信託受益証券への投資割合は、資金動向や市況動向などを勘案して決定するものとし、外国投資信託受益証券の組入比率は原則として高位とすることを基本とします。 3. 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 4. 資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
主な投資制限	1. 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 2. 株式への直接投資は行いません。 3. 外貨建資産への直接投資は行いません。 4. 同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 5. デリバティブの直接利用は行いません。 6. 一般社団法人資産運用業協会規則に定める一の者に対するエクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として35%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。
分配方針	年12回(原則として毎月14日。ただし、休業日の場合は翌営業日。)決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。 ①　分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。 ②　委託者が毎決算時に、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、必ず分配を行うものではなく、分配対象額が少額な場合等には分配を行わないことがあります。 ③　留保益の運用については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

3つの財布 欧州銀行株式ファンド（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第139期(決算日:2026年5月14日)　第142期(決算日:2026年8月14日)
第140期(決算日:2026年6月15日)　第143期(決算日:2026年9月14日)
第141期(決算日:2026年7月14日)　第144期(決算日:2026年10月14日)

受益者のみなさまへ

平素よりご愛顧頂き、厚く御礼申し上げます。

このたび、「３つの財布 欧州銀行株式ファンド(毎月分配型)」が、2026年10月14日に第144期の決算を迎えましたことから、第139期から第144期までの運用状況につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

◆最近5作成期の運用実績

決算期		基準価額			参考指数		債券組入比率	投資信託証券組入比率	純資産
		(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	EURO STOXX銀行株指数(円換算指数)	期中騰落率			
		円	円	%		%	%	%	百万円
第20作成期	115期(2024年5月14日)	2,479	15	7.4	24,628	10.3	−	89.2	3,468
	116期(2024年6月14日)	2,364	20	△3.8	23,107	△6.2	−	86.3	3,282
	117期(2024年7月16日)	2,441	15	3.9	24,588	6.4	−	88.6	3,362
	118期(2024年8月14日)	2,210	10	△9.1	21,522	△12.5	−	88.0	3,024
	119期(2024年9月17日)	2,255	15	2.7	22,229	3.3	−	87.3	3,071
	120期(2024年10月15日)	2,350	12	4.7	23,884	7.4	−	87.1	3,189
第21作成期	121期(2024年11月14日)	2,319	15	△0.7	23,357	△2.2	−	86.5	3,117
	122期(2024年12月16日)	2,331	18	1.3	23,748	1.7	−	88.9	3,083
	123期(2025年1月14日)	2,355	13	1.6	24,258	2.1	−	88.6	3,094
	124期(2025年2月14日)	2,494	13	6.5	27,508	13.4	−	89.0	3,249
	125期(2025年3月14日)	2,600	13	4.8	29,866	8.6	−	88.0	3,393
	126期(2025年4月14日)	2,365	10	△8.7	27,114	△9.2	−	86.2	3,056
第22作成期	127期(2025年5月14日)	2,688	15	14.3	32,875	21.2	−	88.4	3,402
	128期(2025年6月16日)	2,713	20	1.7	32,961	0.3	−	87.8	3,451
	129期(2025年7月14日)	2,823	18	4.7	35,181	6.7	−	88.5	3,584
	130期(2025年8月14日)	3,021	10	7.4	40,159	14.1	−	88.8	3,803
	131期(2025年9月16日)	3,053	15	1.6	40,897	1.8	−	88.1	3,820
	132期(2025年10月14日)	3,020	11	△0.7	40,320	△1.4	−	87.4	3,752
第23作成期	133期(2025年11月14日)	3,185	15	6.0	44,558	10.5	−	90.9	3,816
	134期(2025年12月15日)	3,255	15	2.7	45,979	3.2	−	89.4	3,908
	135期(2026年1月14日)	3,403	18	5.1	50,147	9.1	−	88.0	4,116
	136期(2026年2月16日)	3,266	13	△3.6	46,829	△6.6	−	87.9	3,934
	137期(2026年3月16日)	3,129	14	△3.8	44,048	△5.9	−	88.6	3,692
	138期(2026年4月14日)	3,350	14	7.5	48,976	11.2	−	89.0	3,896
第24作成期	139期(2026年5月14日)	3,342	18	0.3	48,562	△0.8	−	89.1	3,867
	140期(2026年6月15日)	3,473	20	4.5	51,546	6.1	−	89.4	3,973
	141期(2026年7月14日)	3,592	18	3.9	55,366	7.4	−	90.9	3,994
	142期(2026年8月14日)	3,720	10	3.8	59,088	6.7	−	90.7	4,102
	143期(2026年9月14日)	3,613	15	△2.5	57,412	△2.8	−	90.2	3,936
	144期(2026年10月14日)	3,381	12	△6.1	52,139	△9.2	−	88.9	3,657

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」および「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークとの連動またはそれを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドはベンチマークを設定しておりません。運用報告書は、参考指数としてEURO STOXX銀行株指数(円換算指数)を表示しています。円換算指数は委託会社において計算したものです。円換算指数の計算方法は、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の参考指数を営業日前日の為替レートで円換算しています。

◆当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年　月　日	基準価額		参考指数		債券組入比率	投資信託証券組入比率
			騰落率	EURO STOXX 銀行株指数(円換算指数)	騰落率		
	（期　首）	円	%		%	%	%
	2026年4月14日	3,350	－	48,976	－	－	89.0
第139期	4月末	3,347	△0.1	48,737	△0.5	－	87.1
	（期　末）						
	2026年5月14日	3,360	0.3	48,562	△0.8	－	89.1
	（期　首）						
	2026年5月14日	3,342	－	48,562	－	－	89.1
第140期	5月末	3,433	2.7	50,162	3.3	－	87.0
	（期　末）						
	2026年6月15日	3,493	4.5	51,546	6.1	－	89.4
	（期　首）						
	2026年6月15日	3,473	－	51,546	－	－	89.4
第141期	6月末	3,526	1.5	53,597	4.0	－	88.5
	（期　末）						
	2026年7月14日	3,610	3.9	55,366	7.4	－	90.9
	（期　首）						
	2026年7月14日	3,592	－	55,366	-	－	90.9
第142期	7月末	3,639	1.3	56,556	2.2	－	89.8
	（期　末）						
	2026年8月14日	3,730	3.8	59,088	6.7	－	90.7
	（期　首）						
	2026年8月14日	3,720	－	59,088	-	－	90.7
第143期	8月末	3,698	△0.6	58,790	△0.5	－	89.7
	（期　末）						
	2026年9月14日	3,628	△2.5	57,412	△2.8	－	90.2
	（期　首）						
	2026年9月14日	3,613	－	57,412	－	－	90.2
第144期	9月末	3,579	△0.9	56,162	△2.2	－	88.8
	（期　末）						
	2026年10月14日	3,393	△6.1	52,139	△9.2	－	88.9

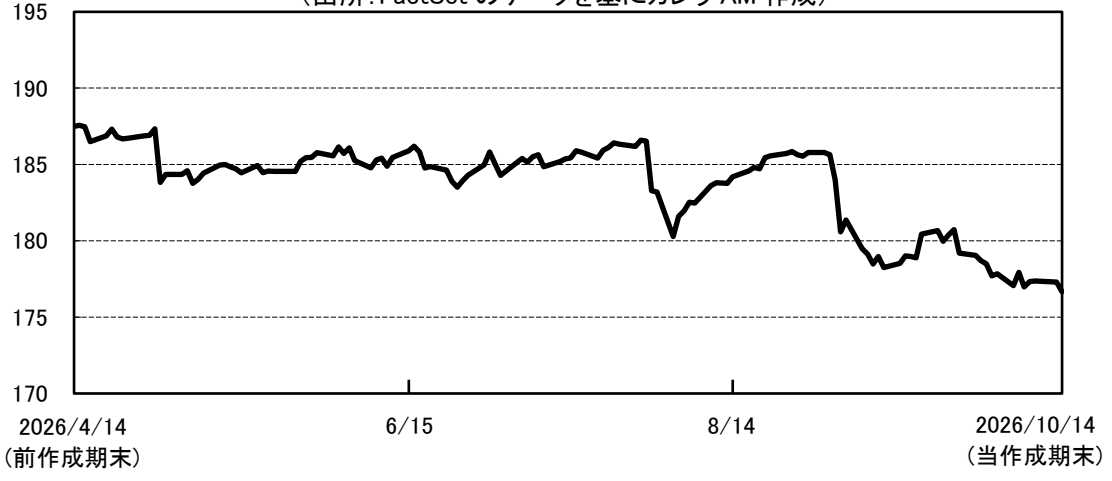
（注1）期末基準価額は分配金込み、騰落率は各期首比です。
（注2）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」および「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
（注3）当ファンドは、特定のベンチマークとの連動またはそれを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドはベンチマークを設定しておりません。運用報告書は、参考指数としてEURO STOXX 銀行株指数(円換算指数)を表示しています。円換算指数は委託会社において計算したものです。円換算指数の計算方法は、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の参考指数を営業日前日の為替レートで円換算しています。

◆当作成期の運用状況と今後の運用方針(2026 年 4 月 15 日から 2026 年 10 月 14 日まで)

EURO STOXX 銀行株指数
(出所:Bloomberg のデータを基にカレラ AM 作成)



ユーロ/円(ロンドン・フィキシング)
(出所:FactSet のデータを基にカレラ AM 作成)

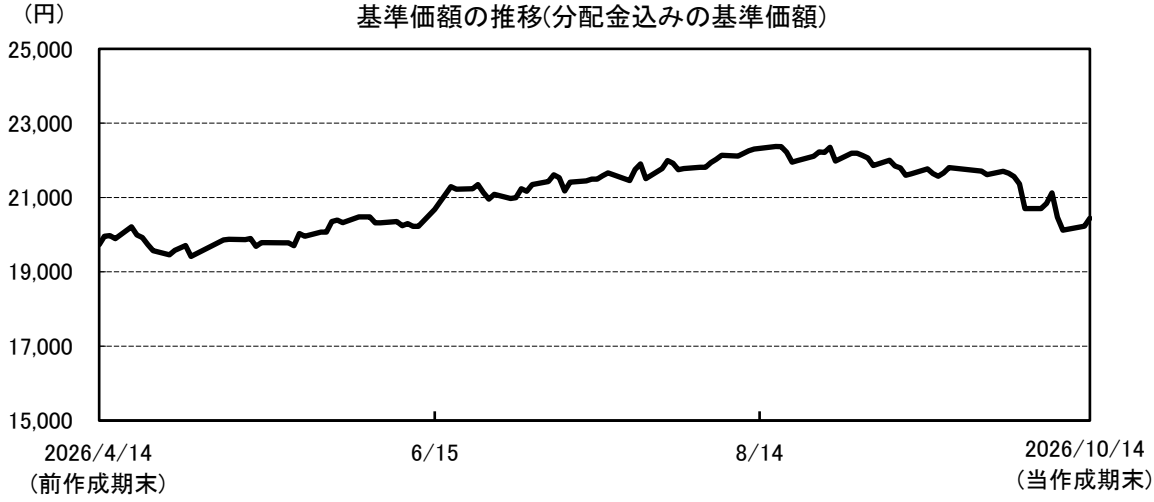


＜投資環境＞

イラン情勢を背景にしたインフレ懸念から金利が上昇傾向となったものの、世界の株式マーケットはAI半導体株を中心に堅調な展開となりました。そのような中、EURO STOXX銀行株指数は、第138期末比＋12.2%、為替市場(ロンドン・フィキシング)は、第138期末比5.1%ユーロ安／円高の177.30円となりました。

＜投資状況と今後の投資方針＞

・投資状況



期中を通し、投資対象とする外国投資信託の組入比率を高位に維持し、実質的に欧州銀行株式に投資しました。また、当該投資信託において、スワップ取引を通じ、当該投資信託が保有する欧州銀行株式のコールオプションの売却を行い、また為替についてもユーロ円のコールオプションの売却を行いました。第144期末時点の当該外国投資信託の組入比率は88.9%となり、当ファンドの基準価額(分配金落ち後)は3,381円となりました。第139期から第144期の1万口当たりの分配金(税込み)は合計93円となりました。

・今後の投資方針

ファンドの運用にあたっては、投資対象とする外国投資信託の組入を高位に維持し、カバードコール戦略を実践することにより毎月決算の分配金原資の確保に努めます。

・分配金の決定根拠及び留保金の今後の運用方針

分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の金額とし、決算時に、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定しております。

留保益の運用については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

＜分配原資の内訳＞

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

決算期	第139期 (2026年4月15日～ 2026年5月14日)	第140期 (2026年5月15日～ 2026年6月15日)	第141期 (2026年6月16日～ 2026年7月14日)	第142期 (2026年7月15日～ 2026年8月14日)	第143期 (2026年8月15日～ 2026年9月14日)	第144期 (2026年9月15日～ 2026年10月14日)
当期分配金	18	20	18	10	15	12
(対基準価額比率)	0.536	0.573	0.499	0.268	0.413	0.354
当期の収益	18	20	18	10	15	12
当期の収益以外	－	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	4,096	4,170	4,222	4,272	4,323	4,365

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◆1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

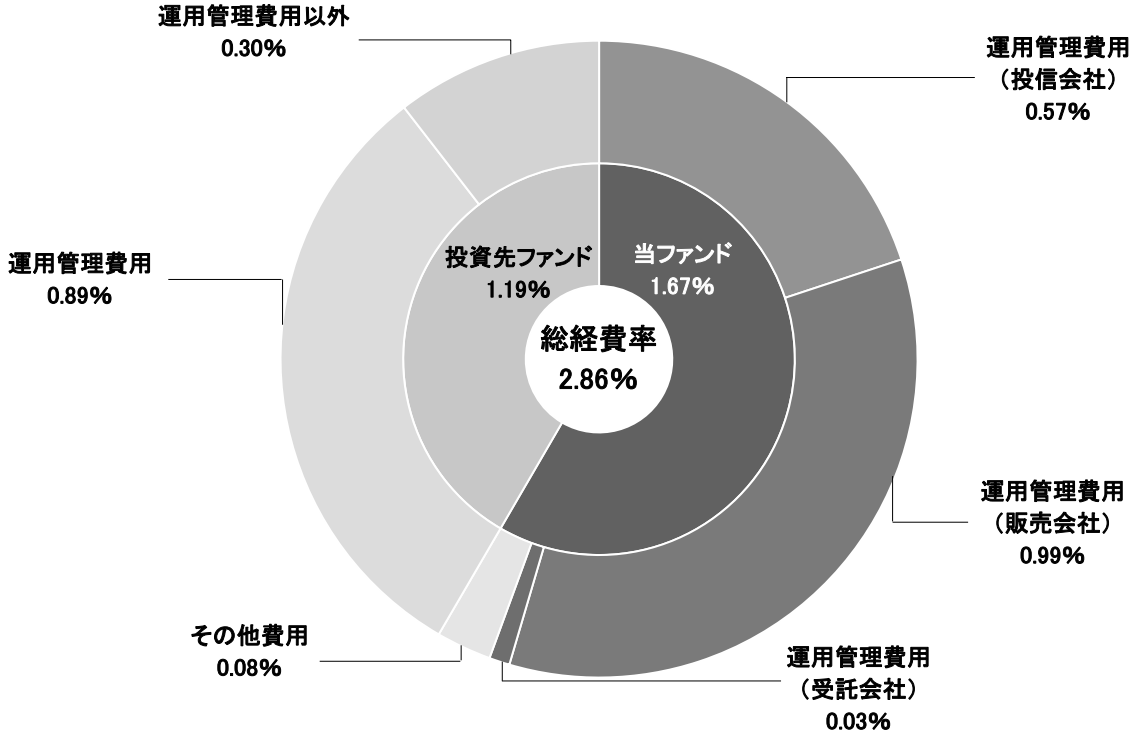
項目	当作成期(2026年4月15日～2026年10月14日)		項目の概要
	金額	比率	
平均基準価額	3,537円	－	作成期中の平均基準価額です。
(a)信託報酬	28円	0.800%	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(10)	(0.287)	資金の運用指図等の対価
(販売会社)	(18)	(0.496)	購入後の情報提供等の対価、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理
(受託会社)	(1)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b)その他費用	1	0.042	(b)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.003)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(1)	(0.028)	・法定目論見書、有価証券届出書、有価証券報告書、運用報告書等の作成、印刷、交付および提供等または提出に係る費用
(その他1)	(0)	(0.011)	・証券投資信託管理事務の委託に係る手数料
合計	29円	0.842%	

(注1) 作成期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含みます。)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。
(注3) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注4) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

・総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額(1 口当たり)を乗じた数で除した**総経費率(年率)は 2.86%です。**



総経費率(①+②+③)	2.86%
①当ファンドの費用の比率	1.67%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.89%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.30%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注7) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

◆**当作成期中の売買および取引の状況**(2026年4月15日から2026年10月14日まで)

投資信託受益証券、投資証券

当作成期中の投資信託受益証券、投資証券の売買および取引はありません。

決算期			第139期～第144期			
			買付		売付	
			口数	金額	口数	金額
			口	千円	口	千円
外国	邦貨建	UBS・欧州銀行株式・ストラテジーファンド	141,666	110,000	－	－

(注1) 金額は受渡代金。
(注2) 単位未満は切り捨て。

◆**利害関係人との取引状況等**(2026年4月15日から2026年10月14日まで)

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人をいいます。

◆**組入資産の明細**(2026年10月14日現在)

(1) 邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当作成期末(第144期末)		
	口数	評価額	比率
	口	千円	%
UBS・欧州銀行株式・ストラテジーファンド	4,541,350	3,251,546	88.9
合計	4,541,350	3,251,546	88.9

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	前作成期末(第138期末)	当作成期末(第144期末)	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
カレラ マネープール マザーファンド	13,977	13,977	13,975

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

〈参考情報〉

下記は、当ファンドが組入れているカレラ　マネープール　マザーファンド全体(13,977 千口)の内容です。

当作成期中における該当事項はありません。

親投資信託における主要な売買銘柄(2026 年 4 月 15 日から 2026 年 10 月 14 日まで)

公社債

第 139 期 ～ 第 144 期			
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
－	－	－	－

(注1) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれていません。)
(注2) 国内の現先取引によるものは含まれていません。
(注3) 単位未満は切り捨てています。

親投資信託の組入資産の明細(2026 年 10 月 14 日現在)

国内(邦貨建)公社債

区分	当作成期末(第 144 期末)						
	額面金額	評価額	組入比率	うち BB 格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5 年以上	2 年以上	2 年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	－	－	－	－	－	－	－
	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)
合計	－	－	－	－	－	－	－
	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)

(注1) (　)内は非上場債で内書きです。
(注2) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。
(注3) 単位未満は切り捨て。
(注4) －印は組み入れなし。
(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。
(注6) 残存期間が1年以内の公社債は原則としてアキュムレーションまたはアモチゼーションにより評価しています。

下記は、当ファンドが組入れているUBS・欧州銀行株式・ストラテジーファンドの組入銘柄です。

外国投資信託受益証券

銘柄名	国名	比率
ウニクレディト	イタリア	10.1%
インテーザ・サンパオロ	イタリア	8.3%
BNP パリバ	フランス	8.1%
INGグループ	オランダ	7.6%
サンタンデール銀行	スペイン	6.3%
ノルデア銀行	フィンランド	5.0%
ドイツ銀行	ドイツ	4.9%
ビルバオ・ビスカヤ・アルヘンタリア銀行	スペイン	4.6%
ソシエテ・ジェネラル	フランス	4.2%
エアステ・グループ・バンク	オーストリア	2.9%
KBCグループ	ベルギー	2.3%
ABN アムロ・グループ	オランダ	2.3%
BANCA MONTE DEI PASCHI SIENA	イタリア	2.1%
AIB グループ	アイルランド	2.0%
BPER BANCA SPA	イタリア	1.8%
アイルランド銀行グループ	アイルランド	1.5%
クレディ・アグリコル	フランス	1.5%
コメルツ銀行	ドイツ	1.5%
カイシャバンク	スペイン	1.5%
バンコBPM	イタリア	1.4%
BAWAG グループ	オーストリア	1.1%
フィネコバンク・バンカ・フィネコ	イタリア	1.1%
ポルトガル商業銀行	ポルトガル	0.9%
ライファイゼンバンク・インターナショナル	オーストリア	0.6%
KBC ANCORA	ベルギー	0.3%
BANCA GENERALI SPA	イタリア	0.3%

(注1) データは2026年10月13日現在(現地時間)のもので、当ファンドでは2026年10月14日の基準価額に反映されます。
(注2) 外国投資信託受益証券の比率は、当ファンドの純資産額に対する評価額の割合です。
※ 本運用報告書は、当ファンド(3つの財布 欧州銀行株式ファンド)の純資産額に基づいて計算しています。

◆投資信託財産の構成

(2026年10月14日現在)

項目	当作成期末(第144期末)	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	3,251,546	88.1
カレラ マネープール マザーファンド	13,975	0.4
預金、金銭信託等、その他	426,807	11.5
投資信託財産総額	3,692,328	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

◆資産、負債、元本および基準価額の状況

項目	(2026年5月14日)、第139期末	(2026年6月15日)、第140期末	(2026年7月14日)、第141期末	(2026年8月14日)、第142期末	(2026年9月14日)、第143期末	(2026年10月14日)現在 第144期末
(A) 資産	**3,951,509,731円**	**4,049,470,876円**	**4,086,701,007円**	**4,130,019,733円**	**3,964,899,280円**	**3,692,328,088円**
預金、金銭信託等	491,561,639	482,351,623	440,815,729	394,343,167	401,219,155	426,793,906
投資信託受益証券(評価額)	3,446,007,666	3,553,173,362	3,631,928,551	3,721,712,408	3,549,706,041	3,251,546,866
カレラ マネープール マザーファンド(評価額)	13,933,693	13,939,284	13,947,670	13,956,056	13,965,840	13,975,624
未収利息	6,733	6,607	9,057	8,102	8,244	11,692
(B) 負債	**84,029,433**	**75,909,024**	**92,190,962**	**27,071,000**	**28,666,787**	**34,476,808**
未払金	50,000,000	40,000,000	−	−	−	−
未払収益分配金	20,831,436	22,882,145	20,017,201	11,030,331	16,341,168	12,984,136
未払解約金	7,830,868	7,269,311	66,781,728	10,284,493	6,599,328	16,205,685
未払信託報酬	5,092,680	5,477,809	5,117,250	5,476,436	5,446,957	5,013,625
その他未払費用	274,449	279,759	274,783	279,740	279,334	273,362
(C) 純資産総額(A−B)	**3,867,480,298**	**3,973,561,852**	**3,994,510,045**	**4,102,948,733**	**3,936,232,493**	**3,657,851,280**
元本	11,573,020,384	11,441,072,908	11,120,667,256	11,030,331,222	10,894,112,200	10,820,113,423
次期繰越損益金	△ 7,705,540,086	△ 7,467,511,056	△ 7,126,157,211	△ 6,927,382,489	△ 6,957,879,707	△ 7,162,262,143
(D) 受益権総口数	**11,573,020,384口**	**11,441,072,908口**	**11,120,667,256口**	**11,030,331,222口**	**10,894,112,200口**	**10,820,113,423口**
1万口当たり基準価額(C／D)	**3,342円**	**3,473円**	**3,592円**	**3,720円**	**3,613円**	**3,381円**

(注1) 当ファンドの第139期首元本額は11,632,587,584円、第139～144期中追加設定元本額は160,787,791円、第139～144期中一部解約元本額は973,261,952円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第139期末0.3342円、第140期末0.3473円、第141期末0.3592円、第142期末0.3720円、第143期末0.3613円、第144期末0.3381円です。

(注3) 元本の欠損
当作成期末において貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は7,162,262,143円です。

◆損益の状況

第139期(自 2026年4月15日 至 2026年5月14日)、第142期(自 2026年7月15日 至 2026年 8 月14日)
第140期(自 2026年5月15日 至 2026年6月15日)、第143期(自 2026年8月15日 至 2026年 9 月14日)
第141期(自 2026年6月16日 至 2026年7月14日)、第144期(自 2026年9月15日 至 2026年10月14日)

項目	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期	第144期
(A) 配当等収益	110,550,091円	111,594,497円	80,492,663円	67,949,784円	77,104,988円	63,589,950円
受取配当金	110,368,820	111,397,427	80,246,229	67,700,779	76,857,074	63,283,189
受取利息	181,271	197,070	246,434	249,005	247,914	306,761
(B) 有価証券売買損益	△ 93,765,913	67,000,466	76,674,241	89,372,883	△ 171,140,576	△ 296,929,166
売買益	266,215	67,209,141	78,759,164	89,799,522	892,490	1,221,805
売買損	△ 94,032,128	△ 208,675	△ 2,084,923	△ 426,639	△ 172,033,066	△ 298,150,971
(C) 信託報酬等	△ 5,367,129	△ 5,757,568	△ 5,392,033	△ 5,756,176	△ 5,726,291	△ 5,286,987
(D) 当期損益金(A+B+C)	11,417,049	172,837,395	151,774,871	151,566,491	△ 99,761,879	△ 238,626,203
(E) 前期繰越損益金	△ 2,596,871,390	△ 2,572,165,205	△ 2,349,153,591	△ 2,191,832,341	△ 2,018,858,579	△ 2,117,177,668
(F) 追加信託差損益金	△ 5,099,254,309	△ 5,045,301,101	△ 4,908,761,290	△ 4,876,086,308	△ 4,822,918,081	△ 4,793,474,136
(配当等相当額)	(1,508,785,464)	(1,496,923,750)	(1,461,671,742)	(1,460,768,799)	(1,453,792,011)	(1,448,827,882)
(売買損益相当額)	(△ 6,608,039,773)	(△ 6,542,224,851)	(△ 6,370,433,032)	(△ 6,336,855,107)	(△ 6,276,710,092)	(△ 6,242,302,018)
(G) 計 (D+E+F)	△ 7,684,708,650	△ 7,444,628,911	△ 7,106,140,010	△ 6,916,352,158	△ 6,941,538,539	△ 7,149,278,007
(H) 収益分配金	△ 20,831,436	△ 22,882,145	△ 20,017,201	△ 11,030,331	△ 16,341,168	△ 12,984,136
次期繰越損益金(G+H)	△ 7,705,540,086	△ 7,467,511,056	△ 7,126,157,211	△ 6,927,382,489	△ 6,957,879,707	△ 7,162,262,143
追加信託差損益金	△ 5,099,254,309	△ 5,045,301,101	△ 4,908,761,290	△ 4,876,086,308	△ 4,822,918,081	△ 4,793,474,136
(配当等相当額)	(1,508,785,466)	(1,496,923,750)	(1,461,671,744)	(1,460,768,803)	(1,453,792,014)	(1,448,827,883)
(売買損益相当額)	(△ 6,608,039,775)	(△ 6,542,224,851)	(△ 6,370,433,034)	(△ 6,336,855,111)	(△ 6,276,710,095)	(△ 6,242,302,019)
分配準備積立金	3,231,560,465	3,274,702,286	3,234,425,974	3,251,891,386	3,255,989,790	3,274,422,027
繰越損益金	△ 5,837,846,242	△ 5,696,912,241	△ 5,451,821,895	△ 5,303,187,567	△ 5,390,951,416	△ 5,643,210,034

(注1) 損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は各期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) 損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注3) 損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注4) 第139期計算期間末における費用控除後の配当等収益(105,188,672円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,508,785,466円)および分配準備積立金(3,147,203,229円)より分配対象収益は4,761,177,367円(10,000口当たり4,114円)であり、うち20,831,436円(10,000口当たり18円)を分配金額としております。
(注5) 第140期計算期間末における費用控除後の配当等収益(108,002,661円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,496,923,750円)および分配準備積立金(3,189,581,770円)より分配対象収益は4,794,508,181円(10,000口当たり4,190円)であり、うち22,882,145円(10,000口当たり20円)を分配金額としております。
(注6) 第141期計算期間末における費用控除後の配当等収益(77,738,947円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,461,671,744円)および分配準備積立金(3,176,704,228円)より分配対象収益は4,716,114,919円(10,000口当たり4,240円)であり、うち20,017,201円(10,000口当たり18円)を分配金額としております。
(注7) 第142期計算期間末における費用控除後の配当等収益(65,471,953円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,460,768,803円)および分配準備積立金(3,197,449,764円)より分配対象収益は4,723,690,520円(10,000口当たり4,282円)であり、うち11,030,331円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。
(注8) 第143期計算期間末における費用控除後の配当等収益(71,387,545円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,453,792,014円)および分配準備積立金(3,200,943,413円)より分配対象収益は4,726,122,972円(10,000口当たり4,338円)であり、うち16,341,168円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。
(注9) 第144期計算期間末における費用控除後の配当等収益(58,313,533円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,448,827,883円)および分配準備積立金(3,229,092,630円)より分配対象収益は4,736,234,046円(10,000口当たり4,377円)であり、うち12,984,136円(10,000口当たり12円)を分配金額としております。

◆分配金のお知らせ

決算期	第 139 期	第 140 期	第 141 期	第 142 期	第 143 期	第 144 期
1 万口当たり分配金 （税引前）	18 円	20 円	18 円	10 円	15 円	12 円

注記事項（当運用報告書作成時点では監査未了です。）

カレラアセットマネジメントからのお知らせ

カレラアセットマネジメントは、私たちに共通で身近な文化であるスポーツの振興や発展を応援し、社会に貢献できることを願います。そのために、カレラアセットマネジメントは、当ファンドの取扱いにより得られた信託報酬の一部を、全日本代表選手（チーム）の強化、同コーチやトレーナーのサポート、さらには将来日本のスポーツ競技を担う子供たちの育成を目的として、直接にまたは関連する法人、団体、協会などを通じて支援いたします。

＊ 支援の金額、方法等についてはカレラアセットマネジメントが決定することとし、状況に応じて変更される場合もあります。
＊ 支援の対象となる選手、コーチ等や関連する法人、団体、協会などは、当ファンドの販売または運用等には関与いたしません。

当社は、当ファンドの取扱いにより得られた信託報酬の一部を、例えば至学館大学（愛知県大府市）レスリング部の強化と同選手を応援することを目的とした支援を行いました。（当社が行った支援の例です。）

＜参考情報：投資先のファンドの概要＞

ファンド名	UBS・欧州銀行株式・ストラテジーファンド （英名：UBS Triple Income European Bank Equity Strategy Fund）
形態等	ケイマン籍／外国投資信託受益証券／円建
運用の基本方針 主な投資対象	主として欧州の金融商品取引所に上場しているユーロ圏の銀行株式（以下「欧州銀行株式」といいます。）に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 また、スワップ取引を通じて、実質的に欧州銀行株式のオプション取引（コールオプションの売却）および通貨オプション取引（ユーロ対円コールオプションの売却）の損益に連動する投資成果を享受します。
投資態度 （運用方針）	〔欧州銀行株式投資〕 1. 主として欧州の金融商品取引所に上場しているユーロ圏の銀行株式に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 2. 欧州銀行株式の投資にあたっては、EURO STOXX 銀行株指数の採用銘柄を参照して、運用を行います。ただし、当ファンドのパフォーマンスは、当該指数の構成比率の変更やスワップ取引の損益等の影響により、当該指数に直接連動することを目指したものではありません。 〔欧州銀行株式のコールオプションに関するスワップ取引〕 1. スワップ取引を通じて、実質的に当ファンドが保有する欧州銀行株式を対象としたオプション取引（コールオプションの売却）の損益に連動する投資成果を享受します。 2. 当該スワップ取引の想定元本の額は、取得時において当ファンドが保有する欧州銀行株式評価額の概ね 50％を上限とします。 〔通貨コールオプションに関するスワップ取引〕 1. スワップ取引を通じて、実質的にユーロ対円を対象としたオプション取引（コールオプションの売却）の損益に連動する投資成果を享受します。 2. 当該スワップ取引の想定元本の額は、取得時において当ファンドが保有するユーロ建資産総額の概ね 50％を上限とします。 ※資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
主な投資制限	1. 株式への投資割合には、制限を設けません。 2. 同一銘柄の株式への投資割合は、当ファンドの純資産総額の 35％以下とします。 3. 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
設定日	2014 年 10 月 16 日
信託期間	無期限（信託設定日：2014 年 10 月 16 日）
決算日	毎年 9 月末日
分配方針	原則として、毎月分配を行います。
購入時手数料 換金時手数料 信託財産留保額	ありません。

運用管理費用 (信託報酬等)	純資産総額に対して、年率0.54%程度 ※上記料率には、管理会社・投資顧問会社、管理事務代行会社、保管銀行、スワップ取引相手方への報酬が含まれます。ただし、管理事務代行会社と保管銀行への報酬は最低年間報酬額(管理事務代行会社は65,000米ドル、保管銀行は12,000米ドル)が定められており、純資産総額によっては年率換算で上記信託報酬率を上回る場合があります。また、受託会社への報酬(固定報酬として年額20,000米ドル)が別途かかります。
その他の費用・ 手数料等	信託財産に関する租税、組入有価証券の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する費用、信託財産の監査に要する費用、投資信託証券のファンド設立に係る費用、法律関係の費用、外貨建資産の保管などに要する費用、その他の費用・手数料等を信託財産から支払いします。なお、これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限等を表示することができません。また、手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
主な関係法人	管理会社:UBSマネジメント(ケイマン)リミテッド※1 投資顧問会社:UBSアセットマネジメント(UK)リミテッド※2 受託会社・管理事務代行会社:BNYメロン・ファンド・マネジメント(ケイマン)リミテッド 副管理事務代行会社:ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン(シンガポール支店) 保管銀行:ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン スワップ取引相手方:UBS銀行ロンドン支店 ※1 2026年1月15日よりUBSマネジメント(ケイマン)リミテッドに管理会社が変更になりました。 ※2 UBSアセットマネジメント(UK)リミテッドが投資顧問会社として2023年1月27日から加わりました。

以下は、「UBS・欧州銀行株式・ストラテジーファンド」の 2025 年 9 月末現在の財務諸表のうち、同ファンドにかかる部分を、委託会社において抜粋し、その原文を翻訳したものです。

(1) 財政状態計算書(2025 年 9 月末現在)

	2025 年 9 月 30 日 日本円	2024 年 9 月 30 日 日本円
資産		
流動資産		
損益を通じて公正価値で測定される金融資産	3,172,403,924	2,595,436,292
現金及び現金同等物	120,049,545	107,537,327
担保として差し入れられた現金	—	43,103,448
その他未収金	788,211	—
資産合計	3,293,241,680	2,746,077,067
資本		
シリーズトラストの株式保有者に帰属する資本金及び剰余金		
資本金	7,848,933,633	7,618,933,633
累積損失	(4,567,333,152)	(4,908,405,986)
資本合計	3,281,600,481	2,710,527,647
負債		
流動負債		
損益を通じて公正価値で測定される金融負債	1,191,852	25,899,211
未払費用	10,449,347	9,650,209
負債合計	11,641,199	35,549,420
資本及び負債合計	3,293,241,680	2,746,077,067

(2) 包括利益計算書(2025年9月末現在)

	2025年9月30日 終了会計年度 日本円	2024年9月30日 終了会計年度 日本円
収益		
受取配当	173,585,724	183,426,760
受取利息	715,195	1,030,270
純外国為替差益	9,553,579	4,623,886
損益を通じて公正価値で測定される金融資産及び金融負債に係る公正価値のその他の純変動額	1,106,940,673	463,251,530
純投資利益	1,290,795,171	652,332,446
費用		
受託報酬及び事務管理報酬	2,977,279	3,035,980
副事務管理報酬	12,427,030	12,671,753
保管報酬	6,025,353	4,577,155
投資運用報酬	5,881,156	5,668,215
管理報酬	4,557,877	4,392,858
取引手数料	943,441	571,374
スワップ関連手数料	3,528,701	3,400,909
その他の営業費用	4,255,578	6,803,533
担保代理人手数料	709,730	699,622
営業費用合計	41,306,145	41,821,399
税引前利益	1,249,489,026	610,511,047
源泉徴収税	(53,820,138)	(52,569,693)
税引後利益	1,195,668,888	557,941,354
包括利益合計	1,195,668,888	557,941,354

(3) 持分変動計算書(2025 年 9 月末現在)

	資本金 日本円	累積損失 日本円	資本合計 日本円
2023 年 9 月 30 日現在	7,653,286,748	(4,908,405,986)	2,744,880,762
当期包括利益合計	—	557,941,354	557,941,354
受益者への分配金	(224,353,115)	(557,941,354)	(782,294,469)
受益証券の発行による受取代金	190,000,000	—	190,000,000
2024 年 9 月 30 日現在	7,618,933,633	(4,908,405,986)	2,710,527,647
当期包括利益合計	—	1,195,668,888	1,195,668,888
受益者への分配金	—	(854,596,054)	(854,596,054)
受益証券の発行による受取代金	230,000,000	—	230,000,000
2025 年 9 月 30 日現在	7,848,933,633	(4,567,333,152)	3,281,600,481

(4) 投資有価証券明細表(2025 年 9 月末現在)

シリーズトラストは、主に上場株式に投資している。シリーズトラストはスワップに投資しているが、シリーズトラストがコールオプション（株式及び外国為替）を売却している場合、スワップはオーバーレイ戦略の実施に用いられている。売却されたオプションは 1 週間または 1 ヶ月の満期で、アット・ザ・マネーにて完全にカバーされ、売却（または、クローズ）される。この戦略では、シリーズトラストは売却したオプションのオプション・プレミアムを受け取るため、市場が下落した場合、シリーズトラストの損失が抑えられる。ただし、オプションがイン・ザ・マネーで決済された場合、シリーズトラストのアップサイドの可能性が抑えられる。売却されるオプションは完全にカバーされているため、オーバーレイ戦略から生じているネット・エクスポージャーはゼロになる（株式コールオプションのショート・ポジションのコミットメントと、それに対応するシリーズトラストにより保有されている株式のネッティング）。

以下の表は､2025 年 9 月 30 日時点におけるシリーズトラストにより保有されている投資有価証券の集中の状況を示している。

	公正価値 日本円	公正価値で評価された 純資産に対する割合 (%)
2025 年 9 月 30 日		
金融資産		
上場株式	3,169,685,570	96.59
外国為替売建コールオプション・スワップへの投資	2,718,354	0.08
	3,172,403,924	96.67
金融負債		
株式売建コールオプション・スワップへの投資	(1,191,852)	(0.04)

以下の表は2025年9月30日時点におけるシリーズトラストにより保有されている投資有価証券の集中の状況を示している。

	公正価値 日本円	公正価値で評価された純資産に対する割合 (%)
2025年9月30日		
金融資産		
上場株式	2,595,436,292	95.75
金融負債		
株式売建コールオプション・スワップへの投資	(11,385,765)	(0.42)
外国為替売建コールオプション・スワップへの投資	(14,513,446)	(0.54)
	(25,899,211)	(0.96)

市場価格が60%(2024年：5%)上昇した場合、買戻し可能受益証券の保有者に帰属するシリーズトラストの純資産は1,365,211,428円(2024年：89,759,476円)増加する。一方、市場価格が60%(2024年：5%)下落した場合、買戻し可能受益証券の保有者に帰属するシリーズトラストの純資産は1,854,717,612円(2024年：92,746,400円)減少する。

管理会社は、売建コールオプション・スワップと上場株式への投資に係わる集中リスクを日々監視している。シリーズトラストの売建コールオプション・スワップと上場株式は、以下の業種に集中している。

	2025年9月30日 投資合計額に占める割合 (%)	2024年9月30日 投資合計額に占める割合 (%)
上場株式への投資		
銀行	99.95	101.01
コールオプション・スワップへの投資		
その他	0.05	(1.01)
	100.00	100.00

財政状態計算書日現在において、保管銀行およびカウンターパーティへのエクスポージャーは、保有投資有価証券のそれぞれ99.95%(2024年：101.01%)および0.05%(2024年：(1.01)%)であった。

以下の表は、売建コールオプション・スワップにおける業種の集中を示している。

	想定元本 日本円 2025年	公正価値 日本円 2025年	想定元本 日本円 2024年	公正価値 日本円 2024年
株式コールオプション・スワップ				
銀行	1,610,966,207	(1,191,852)	1,313,360,168	(11,385,765)
外国為替コールオプション・スワップ	1,626,207,357	2,718,354	1,330,119,413	(14,513,446)
	3,237,173,564	1,526,502	2,643,479,581	(25,899,211)

2025年および2024年9月30日現在、以下の株式の各発行体に対するエクスポージャーは買戻し可能受益証券の保有者に帰属する純資産の5%を超えていた。

投資有価証券	**2025年9月30日 純資産に占める割合(%)**
Unicredit Spa	11.94%
BNP Paribas	9.81%
Intesa Sanpaolo	9.76%
ING Groep NV	8.26%
Deutsche Bank AG	6.94%
Banco Santander SA	6.58%
Nordea Bank ABP	5.49%
Societe Generale SA	5.36%

投資有価証券	**2024年9月30日 純資産に占める割合(%)**
Unicredit SpA	11.95%
BNP Paribas	11.86%
Intesa Sanpaolo	11.17%
ING Groep NV	9.70%
Nordea Bank ABP	6.70%
Deutsche Bank AG	5.58%
Banco Santander SA	5.52%

金利リスクとは、市場金利の変動により、金融商品の公正価値または将来のキャッシュ・フローが変動するリスクである。

2025年および2024年9月30日現在、シリーズトラストは有利子の債券に投資していないため、金利リスクに晒される程度は最小限に抑えられている。金利リスクに晒されているその他の金融資産としては、短期金利で投資されている、または定期預金に預けられている現金及び現金同等物などが挙げられる。

カレラ マネープール マザーファンド
運用報告書(全体版)

第 24 期（決算日：2026 年 6 月 15 日）
（計算期間：2025 年 12 月 16 日～2026 年 6 月 15 日）

受益者のみなさまへ

「カレラ マネープール マザーファンド」は、「３つの財布 欧州銀行株式ファンド(毎月分配型)」、「３つの財布 欧州不動産関連株ファンド(毎月分配型)」、「３つの財布 米国銀行株式ファンド(毎月分配型)」、「３つの財布 欧州リートファンド」、「テキサス州株式ファンド」および「オーストラリアリートファンド(毎月分配型)」が投資対象とするマザーファンドで、信託財産の実質的な運用を行っております。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第 24 期の運用状況をご報告申し上げます。

●当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

主な運用方針	この投資信託は、安定した収益の確保を目指して安定運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債を主要投資対象とします。
主な投資制限	1. 同一法人等が発行したもしくは取り扱う投資対象資産（国債等を除きます。）への投資（現先取引による投資を除きます。）の合計額は、信託財産の純資産総額の 5%以下とします。 2. 同一法人等を相手方とする取引期間が 5 営業日以内のコール・ローンでの運用は、上記①の規定を適用しません。 3. 株式への投資は、転換社債の転換請求および新株予約権(新株予約権付社債のうち会社法第 236 条第 1 項第 3 号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの(以下、会社法施行前の旧商法第 341 条ノ 3 第 1 項第 7 号および第 8 号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。)の新株予約権に限ります。)の行使により取得した株券に限り、信託財産の純資産総額の 5%以下とします。 4. 外貨建資産への投資は行いません。 5. 有価証券先物取引等は、約款第 18 条の範囲内で行います。 6. スワップ取引は、約款第 19 条の範囲内で行います。 7. 一般社団法人資産運用業協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ 10%、合計で 20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、一般社団法人資産運用業協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行います。

◆最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率	債券組入比率	債券先物比率	純資産
	円	%	%	%	百万円
20期(2024年6月17日)	9,922	△0.0	－	－	51
21期(2024年12月16日)	9,926	0.0	－	－	51
22期(2025年6月16日)	9,936	0.1	－	－	51
23期(2025年12月15日)	9,949	0.1	－	－	51
24期(2026年6月15日)	9,973	0.2	－	－	51

(注1) 債券先物比率は買建比率－売建比率。
(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークとの連動またはそれを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

◆当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券組入比率	債券先物比率
(期首)	円	%	%	%
2025年12月15日	9,949	－	－	－
12月末	9,950	0.0	－	－
2026年1月末	9,955	0.1	－	－
2月末	9,958	0.1	－	－
3月末	9,963	0.1	－	－
4月末	9,967	0.2	－	－
5月末	9,971	0.2	－	－
(期末)				
2026年6月15日	9,973	0.2	－	－

(注1) 騰落率は期首比です。
(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。
(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークとの連動またはそれを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

◆当期の運用状況と今後の運用方針(2025 年 12 月 16 日～2026 年 6 月 15 日まで)

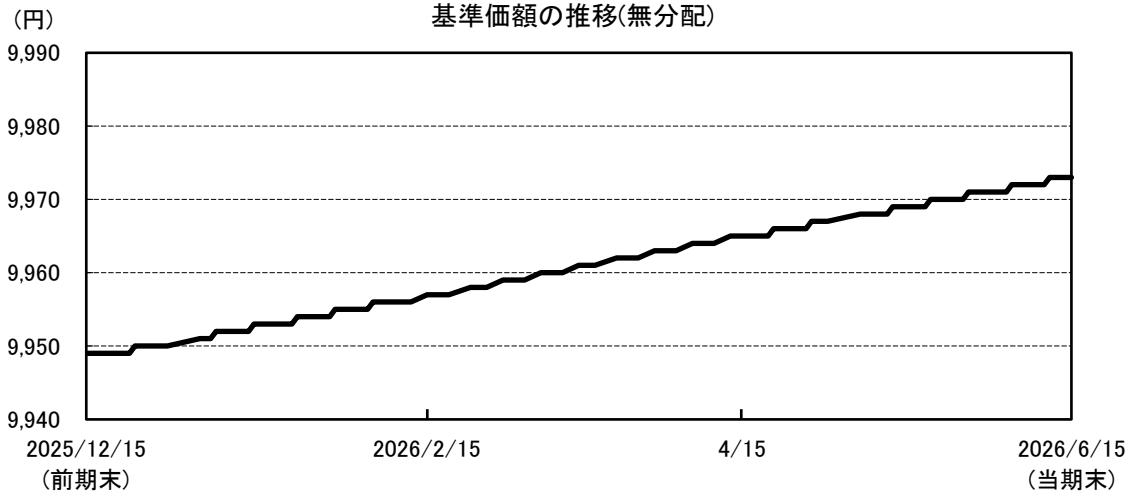
＜経済・金融市場の動向＞

高市政権による財政拡張への警戒、日銀の追加利上げ観測や世界の地政学的リスクを背景とするインフレ懸念の高まり等を背景に上昇基調となりました。

当期末時点の日本国債 10 年物利回りは 2.582%、日本国庫短期証券 6 ヶ月物の利回りは 1.001%となりました。

＜運用状況と今後の運用方針＞

・運用状況



当該期間中、特約付指定金銭信託、コール・ローン等で運用しました。

当期末の基準価額は 9,973 円となりました。

・今後の運用方針

今後の投資方針として、主としてわが国の公社債等に投資し、安定した収益の確保を図るとともに、常時適正な流動性を保持するよう配慮しながら、資金動向、市況動向等を勘案して、投資する方針です。

◆1 万口（元本 10,000 円）当たりの費用明細

該当事項はありません。

◆利害関係人との取引状況等（2025 年 12 月 16 日～2026 年 6 月 15 日まで）

当期中における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第 11 条第 1 項に規定される利害関係人です。

◆組入資産の明細（2026 年 6 月 15 日現在）

該当事項はありません。

◆投資信託財産の構成

(2026年6月15日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
預金、金銭信託等、その他	51,830	100.0
投資信託財産総額	51,830	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

◆資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年6月15日現在)

項目	当期末
(A)資産	51,830,945円
預金、金銭信託等	51,830,235
未収利息	710
(B)純資産総額(A)	51,830,945
元本	51,970,693
次期繰越損益金	△ 139,748
(C)受益権総口数	51,970,693口
1万口当たり基準価額(B／C)	9,973円

(注1) 期首元本額 51,970,693円
期中追加設定元本額 0円
期中一部解約元本額 0円
(注2) 1口当たり純資産額 0.9973円
(注3) 元本の欠損
当期末において貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は139,748円です。
(注4) 期末における元本の内訳
３つの財布 欧州銀行株式ファンド(毎月分配型) 13,977,022円
３つの財布 欧州リートファンド 11,051,457円
３つの財布 欧州不動産関連株ファンド(毎月分配型) 9,971,025円
３つの財布 米国銀行株式ファンド(毎月分配型) 9,971,025円
オーストラリアリートファンド（毎月分配型） 4,700,312円
テキサス州株式ファンド 2,299,852円

◆損益の状況

当期(自 2025年12月16日 至 2026年6月15日)

項目	当期
(A)配当等収益	126,855円
受取利息	126,855
(B)当期損益金(A)	126,855
(C)前期繰越損益金	△ 266,603
(D)計 (B＋C)	△ 139,748
次期繰越損益金(D)	△ 139,748

注記事項(当運用報告書作成時点では監査未了です。)